論壇

北海移民を送る

（二）

下都賀郡南部一町六個村の水害地窮民は、今朝小山驛を發して北海移住の途に就かんとす、住馴れし墳墓の地を去り親しき郷黨に離れて、一念起生、茲に窮餘の活路を辿らんとする一行の心情を察すれば、誰れか感然たらざるものぞ、別離悲愴の感は素より人情の自然にして、時の古今人の老若を問はざるもの、されど吾輩は這個一行を送るに當りて此感特に深きものあるを共に、斯かる悲愴の感を呼起さしむる別個の事情に想到せざる能はざるなり。

思ふに移民と稱し開拓と云ふ言葉の裏面には、主として人口の配地均衡と不毛征服を意味し、移民奬勵の聲は先づ過剰人口の整理てふ特殊の狀態より發す、即ち嚴格に云へば彼の海外出稼ぎの如き一口に移民と稱するも其實質は或期間内の移住に過ぎずして、眞の移住者たらざる可らざるなり、此意味に於て縣南水害地の移住民を見るに、如何にも行くべく餘儀なくされたる背後の事情を概せざるを得ず、勿論縣南の諸地苟くも河流に接する部落は何れも水村塲境域に屬し、年々頻發の慘禍に擧げて數ふ可らず、中央政府の提案沿岸四縣會に容れられて渡良瀬川改修工事となれる者、假りに是非得失の論は措き改修設計の方針樣期の如く實現されたる曉に於ては渡良瀬川の流利根川の改修と相俟ち、縣南沿岸の各地は當然復活するの運命を有す、即ち近き未來に於ける沿岸水害の免除てふ約束は進歩せる土木技術の齎らすべき使命にして、果して然らば豫じめ期待し得る十年の後を振棄て、這個一行の窮民を北海の地に送らざる可らざる餘儀なき事情の切迫は、單に移民への同情のみならず、更に以上の意味深き同情を注がざる可らず、他なし縣南一町六個村の窮民は實に渡良瀬川改修の効果と離反する能はざるの親あればなり。

云ふ勿れ、事既に茲に至るは、されど事精の動く所、境遇の轉ずる所事正に茲に至りて亦何ぞ爲ん難し、七十一戶、二百四十餘名、敢て秘しとせず、北海の長風高く寒潮を卷くの所、雪を戰ひ氷を踐みて未曾の野を開拓する又是れ農耕の尊貴獨立を示すものたらずや、野州稍や寒しと雖ち今や櫻花の節際し、爛漫たる花影人の訪ふを待つが如し、思ふに祖先傳來の地を去り郷國の花に背きて異郷の住民となる者、胸中の感夫れ如何、然れども事茲に至る、花い咲くや散るの初めの苦しみや樂むの因たる言ふ迄もなし北海の地寒しと雖も亦異郷自ら見るべく樂しむべきものあらん、たゞ當に行きて健闘せよ、汗の價は即ち富なり。（水生）

海外電報（昨日着）

●日墨秘密協約存す（紐育）米國上院議員レイナー氏は昨日議會の開會に當り余は最も近き機會に於て日本に對し墨西哥の關係に就いて演說を試みんとす

●日本人捕縛續報（倫敦）問題の日本人は別に留置せらるゝ嫌疑を以て露國ステリエルナに於て捕縛されたる日本人は別に留置せられず

●仲裁案と日英同盟（倫敦）日本は英米仲裁條約を成立せしむるに同意せり日英條約を變更することに同意せり日英國外務省は之なり以て臆測の說に過ぎずと爲せり然れども英米仲裁條約に就き日英兩國間に何等かの意見の交換はあり

●日米の交歡（倫敦）華盛頓より電報に曰く米國大統領タフト氏は日本天皇陛下の報道に曰く米國大統領タフト氏は日本天皇陛下に對して余は陛下の聖旨に答へて余は陛下の聖旨に答へて余は陛下の聖旨に答へて